

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第11号 平成23年5月23日

肝で打てないクリーンナップ!!!

勝負に勝ってゲームに負けた・・・

	1	2	3	4	5	6	7	R
S	0	0	2	0	1	7		3
G	0	0	2	0	3			5



5/22(日) 2週連続江戸川区に出向き、松濤スカイスクレーパーと私学事業団野球場でオープン戦を行った。今日の天候は、午後から雷が鳴るほどの降雨が予想されるため、人工芝を選択して良かった、と思ったが、このグラウンドが滑る。特にアンツーカーの土がその近辺に混ざり、これが非常に滑った。内野人の守備練習の時に、その兆候は現れた。そして、この滑り現象が、後に一人の筋断裂全治3週間を呼ぶ事となった。ゲームは、我がチーム後攻でプレイボール。先発は達脇、その達脇は、四球で出塁を許すものの、無難にまとめ、幸先良いスタートを切った。その裏に早くも先制のチャンスが、巡ってきた。相手投手の乱調から、無死1・2塁の得点チャンス。しかし、この好機にクリーンナップが、あっさり凡退でこのチャンスを逸す。ゲームが動いたのは、3回の相手攻撃、3つの長単打と四球、犠飛で2点を失点した。しかし、失点したものの、特別守備が悪かった訳では無いので問題なし。その裏、我がチームにも動きが・・・先頭のサンデー@幹男が、四球を選択し出塁、後続が倒れるも、この倒れた方は、狙いが有ってのバッシングなので、彼の好調ぶりが伺える。そして次打者も四球を選択し出塁、WPの間に進塁し、1死2・3塁と絶好の得点シーンとなった。打席には、最近打撃不振の3番が、粘って打った7球目は、最低限の仕事、外野への犠飛かと思ったが、意外と打球が伸び、同点の2点タイムリーとなった。その後は、5回に失点するも、その裏に、4つの安打により、またもや逆転し、結果このゲームの勝利に結びつけた。しかし、ゲームは勝利したが、6回には、結果的にイニング不成立となったが、7点の失点をした。失策・内外連携の乱れ、ましてや、声掛け不足の失策記録にならない安打と最後は、非常に嫌な間の残る幕切れとなった。次回以降は、声掛けで、次の進塁を防ぐと共に、取りに行く姿勢を見せたならば、最後まで追いかける。若しくは声掛けにより、その行為を捕球出来る選手に任すなど、この変の修正を行い、すっきりと勝利しよう。最後に、本ゲームで負傷者を出してしまった。怪我には、予知出来るものと、そうでないものがあると思う。今回においては、一人は予知出来ないもの(既に保険申請)しかし、もう一人に関しては予知出来るものだと思う。この予知を防止しない限り、自身も痛みを蒙るが、チームも痛手を負う事を十分認識して欲しいと感じた。